



ごあいさつ

津市PTA連合会
会長 木原 剛 弘

日ごろより、子どもたちを温かい眼差しで支えていただいておりますことに、改めて衷心より敬意を表します。早いもので、今年度最後の広報紙を発刊する時期となりました。今年度の活動をお支えいただきました、みなさまに心より感謝を申し上げます。

津市PTA連合会では、今年度も幼稚園部会、小学校部会、中学校部会の交流会をはじめ、各事業を実施させていただきました。特に、7月の「地域わくわく体験教室」や、11月の「子どもロケット体験教室」には多くの児童に参加いただくことが出来ました。

また、昨年1月に発生した能登半島地震を踏まえ、12月には八木澤氏を講師に東日本大震災の経験をもとに防災・減災について考える講演会を開催いたしました。いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震に対して、私たちもさらに意識を高めていかなければなりません。

さらに2月には、各中学校区よりご提出いただいた通学路等の改善要望122件を取りまとめ「子どもたちの健全な育成及び環境整備を図るための要望書」として森教育長に提出し、子どもたちの安全、安心のために早期の改善を強くお願いいたしました。

急激な社会変化のなか、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。津市PTA連合会としては「つながろうPTA！子どもたちの輝く未来のために」のスローガンのもと、保護者同士のつながり、学校・家庭・地域のつながりがより深まり、子どもたちが健やかに成長することができる環境を目指してまいります。

津市PTA連合会の今年度の活動へのご理解に深く感謝を申し上げますとともに、引き続きのご理解ご支援を切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

子どもロケット体験教室 11月23日(土)

11月23日(土)、津市青少年野外活動センターにおいて「子どもロケット体験教室」を開催しました。津市内の小学1年生から6年生を対象に募集をして、71名の応募者の中から抽選で選ばれた50名の子どもたちと活動を行いました。NPOくさつ未来プロジェクトのみなさまのご指導のもと、苦戦しつつも、子どもたちは楽しみながら熱心に個性豊かなロケットを作りました。作り終わると、早く発射させたいとワクワクしながら期待に胸を膨らませていました。

いざ、発射の時にはパラシュートが飛ぶかな、発射ボタンを押すのが怖いかなど不安も入り混じった表情をしていました。大空高く打ち上がる自分のロケットを追いかけているキラキラと輝く子どもたちの笑顔はみている大人も嬉しく親子で良い体験になったと思いました。



「子どもの健全な育成及び環境整備を図るための要望書」を提出 2月4日(火)

2月4日(火)、津市教育委員会庁舎において、通学路の危険と思われる箇所について「子どもの健全な育成及び環境整備を図るための要望書」として提出いたしました。

津市内の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校から提出された、122件(新規・継続)の要望をとりまとめ、津市PTA連合会 木原会長から森教育長に手渡されました。

提出後、森教育長はじめ教育委員会事務局の方々と津市PTA連合会の木原会長、本橋代行、橋爪副会長が、子どもの取り巻く環境について情報交換を行いました。

今年度提出した要望書は、教育委員会より内容別に関係部署等へ振り分けられ、次年度10月頃に回答をいただき、提出いた

だいた各幼・小・中・義務教育学校の方々へご報告させていただきます。



幼稚園部会交流会 11月10日⑩

11月10日(日)、芸濃総合文化センターにて参加園14園(16名)の保護者の方が5グループに分かれ、スマイルワークを活用してのグループディスカッションを行いました。進行役であるスマイルリーダーの木原さんのもと、小学校就学前の不安や期待について様々な意見を出し合いました。

また、津市教育委員会事務局の方より津市が取り組んでいる「幼保小の架け橋プログラム」について、津市では園での学びを大切にされた学校教育が行われていることを詳しく説明していただきました。

各グループに分かれて意見交換、情報共有ができ、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

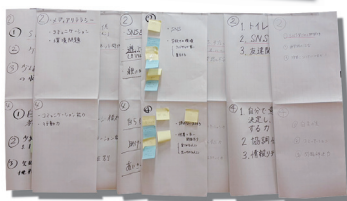
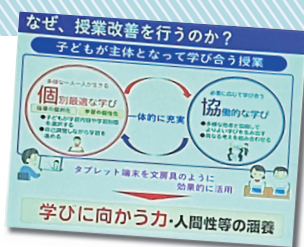


小学校部会交流会 11月10日⑩

11月10日(日)、芸濃総合文化センターにおいて「小学校部会交流会」を開催しました。今年度は39名が参加し8グループに分かれて行いました。

前半は「津市の授業改善の取り組み」について、津市教育委員会事務局からの説明を聞きました。「教師が教える授業」から「子どもたちが自ら学ぶ授業」へと時代と共に変化している話はとても興味深いものでした。

後半はグループディスカッションを行いました。テーマは「今心配なこと」と「これから身につけてほしい力」についてを話し合いました。皆同じような悩みを持って子育てをしていることを知り、安心したことと共にこれからの課題としてPTA活動等に活かしていけたらと思いました。



中学校部会交流会 11月10日⑩

11月10日(日)、芸濃総合文化センターにて、中学校部会交流会が開催されました。まず、津市教育委員会事務局より「津市が目指す授業改善」の説明がありました。多様な子どもたちを誰一人取り残さないことを目指して「教師が教える」から「子どもが学ぶ」へ変化したいとのことでした。

その後、(1)子どもたちを取り巻く環境で心配なこと、(2)子どもたちに身につけて欲しいチカラについて、を話し合いました。(1)についてはスマホやSNSの話題が多く出ました。(2)については自立心を持って欲しい、心の成長をして欲しいという意見が聞かれました。親としての悩みや希望などを共有することが出来、とても有意義な交流会となりました。



防災減災セミナー

八木澤 由美子氏講演会「ここに生きる～大切な人を想いながら～」 12月1日⑩

12月1日(日)、美里文化センターにおいて八木澤由美子氏を講師に、防災減災セミナーを開催しました。

13年前の3月11日、東日本大震災において地震発生直後に保護者に引き渡した園児9名が津波の犠牲になってしまったという体験を基に、防災対策の在り方など分かりやすくお話いただきました。

画像を踏まえた講演は、会場の参加者から泣き声が聞こえるなど、大きく心を揺さぶるものでした。質疑においても多くの人が質問をし、とても有意義な講演会となりました。



東海北陸ブロック研究大会愛知大会

10月25日(金)・10月26日(土)

10月25日(金)、26日(土)、愛知県にて「第80回日本PTA東海北陸ブロック研究大会愛知大会」が開催されました。

「誇りを胸に 笑顔を繋ぐ 心の輪 ～ 耀く未来であるために～」をメインテーマに25日は愛知県内3施設で分科会、翌日26日は全体会・記念公演の日程で行われ、東海北陸ブロックの県市から多くの参加者が集まりました。

1日目(25日)、第5分科会では、2つのPTAの事例発表がありました。1つ目は、三重県四日市市立塩浜中学校PTAが「コロナを経てなお、見直し、継続していく地域連携～地域性と小規模校の特性を生かした、伝統文化の継承～」との演題で取り組みについて発表がなされました。小さな地域ならではの連携の良さを生かしたPTA活動の数々をご紹介頂きました。2つ目は、愛知県岡崎市立大門小学校PTA「地域社会との緊密な連携を築こう～PTA、地域、学校で子どもの成長を見守

る～」です。地域の方々とPTA、学校の3者がより協力をし子どもたちを見守る活動をご紹介頂きました。それぞれの取り組みを直に聞き、自分の地域で生かせる情報を共有していくことも、大きな役割であると感じました。

2日目(26日)は、全体会として豊田大谷高等学校ダンス部によるオープニングで笑顔と元氣と感動をもらいました。また記念公演では、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」が公演されました。この作品は戦時中の動物の殺処分や、戦後の特別列車で子どもたちがゾウを見るまでの実話を基にした合唱曲です。戦争で動物を巻き込んだ悲劇や、平和の大切さについて考えるきっかけになってほしいという思い、人間も動物も笑い、泣き、歌い、懸命に生きた姿を子どもも大人も一緒に楽しんでほしいという思いが込められていました。



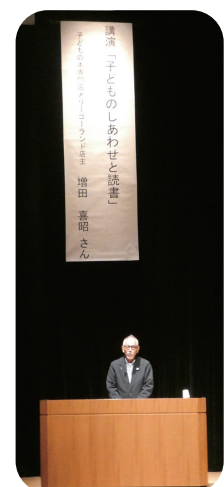
第52回三重県教育県民集会 11月9日(土)

11月9日(土)に「第52回三重県教育県民集会」が、白山総合文化センターしらさぎホールにて開催されました。

来賓挨拶において一見勝之三重県知事および福永和伸三重県教育長が、いじめ問題、教育のあり方、不登校、教員のケアなどの、教育現場における今日的課題についての取り組みについてお話がありました。

講演では、増田喜昭さん(子どもの本専門店メリーゴーランド店主)による「子どものしあわせと読書」との演題でご講演いた

だきました。自身の体験したことを交えてお話いただき、非常に勉強になりました。今後の子育てやPTA活動等に活かして行ければと思いました。



三重県幼中高PTA研修会 10月1日(火)

10月1日(火)、三重県総合文化センターにおいて、「自己肯定感を正しく知り、豊かな人生を送るコツ」というテーマで、パスファインダーアカデミーの代表講師 松林秀典さんを講師にお招きし研修会が開催されました。

自己肯定感とは自尊感情、自己信頼感など様々な感情をひとまとめにしたもので、ポジティブだから良いという問題ではなく、ネガティブな感情も持ち、学習出来ることが必要とのことでした。「ありがとう」「大丈夫」「なんとかなる」「楽しい」「嬉しい」との言葉を口にする、感謝をすることは自分も相手も心のエネルギー充填になり大切であることを知ることが出来ました。親として子どもにどのように関われば良いかと勉強になりました。



研修委員会 出前講座

今年度も出前講座に12校よりお申込をいただき、372名の方にご参加いただきました。

津市PTA連合会では、引き続き「出前講座」を通じて、各単位PTAにとっての学びの場を提供できるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



事務局より

令和7年度 津市PTA連合会総会

日時 令和7年5月24日(土) 10:00～

会場 津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール

三重県PTA連合会 令和7年度 単P会長等研修会

日時 令和7年6月29日(日) 13:00～

会場 メッセウイングNHW

第82回 日本PTA東海北陸ブロック 研究大会三重大会で使用する シンボルマークのデザイン募集

令和8年10月に開催される「第82回日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会」シンボルマークのデザインを、広く県内の公立小中学校の児童生徒から募集しています！「大会シンボルマーク募集要項」をご確認いただき、ぜひご応募下さい。

第82回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 三重大会 大会シンボルマーク デザイン

令和8年10月に第82回日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会、開催が決定しました！
そこで、大会のシンボルマークを広く募集いたします。多数のご応募お待ちしております！

大募集！

大会シンボルマーク募集要項

1. 大会スローガン

「つながり つなげる
～ええやん！つながりみえるPTA！～」

子どもたちがのびのびと健やかに育まれるためには、人と人の繋がりが不可欠です。
改めて「学校」「地域」「家庭」の繋がりを「連帯」におけるPTAの役割を再確認し、令和時代のPTA活動の構築へとつなげます。

●スローガンに沿うような親しみの持てるシンボルマークを考えてください。

2. 応募資格

●三重県の公立小中学校の児童生徒
※保護者との共同作品も可能です。是非一緒に考えてみてください。

過去の作品
第67回愛知大会

3. 応募方法

●A4サイズで白色用紙(たてよこ自由)、1枚につき作品1点を応募してください。
●申込方法: シンボルマーク作品、郵便番号、住所、氏名、所属学校、電話番号を明記の上、三重県PTA連合会事務局へ郵送にて、ご応募ください。

第75回三重大会

4. 応募申込締切

●令和7年3月末日まで

5. 賞・表彰

●シンボルマーク最優秀賞1作品
賞状と図書カード5,000円分を贈呈
●日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会で表彰式を行います。



6. その他

●作品の著作権および使用権は三重県PTA連合会に帰属するものとします。
●選ばれた作品で、一部専門家に修正が入る場合があります。
●決定したシンボルマークは令和8年10月開催の日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会に向けてのPRに広く活用させていただきます。



7. 作品の応募先、問い合わせ先

●三重県PTA連合会事務局
〒514-0061 津市一津田上津部田1234 三重県生涯学習センター2F
メール rengokai01@mie-pta.com
HP http://mie-pta.com
TEL 059-233-1163 FAX 059-233-1164



編集 後記



コロナ禍を経て、津P連の活動も以前のように戻ってきたことをとても嬉しく思います。PTA活動に参加していただいたみなさまには、コロナ禍では少なかった人と人の繋がりについて、その大切さ改めて実感していただけではないでしょうか。

「つばいすまいる」が無事に発行できたのは、みなさまのご協力あってのことです。広報担当より深く感謝申し上げます。